

団体名:かさでらのまち編集室

マップづくりワークショップ



■活動の内容

かさでらのまち編集室は、笠寺エリアの現状のまちづくりに欠けているのは「発信力」であり、活動実績や地域資源を「発信」する力を備えることがまちづくりの次のステップに不可欠であるとの考えから、まちの情報を編集し、発信力を高めることを目的とした活動をしています。今回は、笠寺の玄関口、レトロな駅前商店街を重点的に歩く「マップづくりワークショップ」の活動を視察しました。

- 日 時 令和6年9月29日(日)13時～16時
- 場 所 笠寺観音商店街
- 活動名 まちを編んでニュースペーパー紙を発行する
+まちを編んでおみやげをつくる+エリアマップ作り
- 内 容 マップづくりワークショップ
- 参 加 16名(大人13人・子供3人)



名鉄本笠寺駅改札前に13時集合、レトロな笠寺観音商店街愛好家や笠寺の地元に興味のある方々に前もって声掛けをしてあったのもあり、みんなぞろぞろと集まってきました。

顔見知りの人もそうでない人も、まずは自己紹介。気持ちが和んできたころ合いで、笠寺観音商店街を重点的に散策開始。一部店舗には内部見学の依頼もしてあったおかげで、快く商店街の方々に見学や写真を許可していただくことができました。

後半の部「道で探そう!笠寺隠れスポット」では、笠寺を代表する3本の「道」を4つのグループに分かれ、それぞれ道沿いで見つけた面白いものを写真とメモで記録します。

面白かったスポットを共有するため、LINEのオープンチャット機能でみんなが思うまま投稿しながら散策するルールで行い、旧東海道、観音～七所神社の道、JR笠寺～名鉄本笠寺の道、道くさ、寄り道、細い路地にもお邪魔しながら、自由にゆっくりと散策できました。小さな子から大人まで、楽しい時間を過ごせるイベントに、出来上がるまち歩きマップの完成が待ち遠しいです。



まちの骨董屋さん



笠寺一里塚



旧東海道沿い
“見ざる言わざる聞かざる”

編集会議

